

若者活躍支援の取組状況について

1 現状

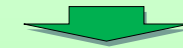
- 東日本大震災津波を契機に、全国の若者が沿岸地域等に移住し、各地域の活動を盛り上げている。
- いわて若者カフェの取組は盛岡中心で、県北沿岸での取組が不十分。近年はオンラインの併用により、盛岡近郊以外からの参加者が増加傾向であるが、県内全域の若者が実際に交流できる取組みも必要。
- 県の青少年の健全育成に関する意識調査（R3）によると、「気軽に立ち寄れる施設や場所が必要」と回答した青年は6割を超えている。また、5割以上の青年が、若者が企画するプロジェクトへの参加に関心を示しているものの、自分で企画運営して行事やボランティア活動を行いたいと考える青年は15%前後にとどまっている。

2 課題

- 県北沿岸地域での若者の活発な交流を後押しする取組が必要。
- 若者の身近な地域に交流や相談がしやすい場所や体制が必要。
- 多様な分野で若者が活躍できるよう若者同士が交流できる場の創出とネットワーク形成促進等の取組が必要。

若者活躍支援の必要性

- ☞ 人口減少社会を迎え、斬新なアイデアや溢れるエネルギーなどのポテンシャルを有する若者が、地域に目を向けながら、まちづくりや地域課題の解決等に向けて中心的に携わっていくことが期待される。
- ☞ そのような若者による主体的な活動が活発化することで、持続的な地域づくりのみならず、地元定着やU・Iターンの促進、地域の担い手の確保、人材育成などの効果も期待される。



💡 多様な分野で活動している若者のネットワークを形成し、つながった仲間との交流を通じて、若者の主体的な活動が実現されるようサポートを行っていくとともに、若者の活動が受け入れられる環境づくりを推進する。（若者活躍支援）

3 対応の方向性

- 若者間の交流とネットワークづくりの促進
- 情報発信の強化
- 若者団体自らが実施する地域課題解決等の取組の支援（人的支援・金銭的支援）

4 令和4年度の具体的な取組

☆いわて若者カフェの運営

- 【運営方法】委託（イベント企画・実施、活動交流スペースの運営）
- 【利用対象】いわて若者ポータルサイト（コネクサス）の登録団体・個人
- 【開館時間】火曜日～土曜日 13:30～19:30（開館時間変更）
- 【機能】
 - ①若者同士の交流と情報交換の場
 - ②若者団体の情報発信（ミニスタジオ）
 - ③若者の活動を支援する人材の配置（カフェマスター、サポートスタッフ）
- 【イベント等】
 - ①カフェミーティング
 - ②若者交流ミーティング
 - ③情報誌の発行
- ※連携拠点（県北沿岸3カ所、県南1カ所）の開設



☆いわてネクストジェネレーションフォーラムの開催

- 【趣旨】多様な分野で活動する若者が交流・意見交換することにより、地域における主体的な活動の活性化につなげるもの。
- 【期日】令和4年12月10日（土）
- 【場所】いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- 【開催形態】ハイブリッド型（対面とオンライン配信の併用）
- 【内容】
 - ①開会イベント
 - ②講演、知事と若者とのパネルディスカッション
 - ③「#イワテノコレカラ」スローガン決定、閉会イベント
 - ④ブース出展・HP上でパフォーマンス及び活動動画掲載
- ※当日の講演や活動紹介動画は「ネクジェネいわて2022」HPを御覧ください。



☆若者の活動に対する資金面での支援

- 【概要】地域課題の解決や元気創出に資する独創的、先進的な事業を実施する若者グループに対して補助金を交付
- 【採択事業】
 - (1) いわて若者アイデア実現補助（R4 採択件数：8件）
 - ①被災地のまちづくりなど、本格的な復興につながる事業（震災復興分野）
 - ②地域課題の解決など、地域の活性化につながる事業（地域づくり一般分野）
 - (2) 若者文化振興事業費補助（R4 採択件数：1件）
 - 文化芸術活動に取り組む若者の発表や相互交流の場となる文化芸術イベント等を開催する事業
 - ※今年度から応募先を広域振興局から若者女性協働推進室に変更

☆若者交流ポータルサイト（コネクサス）の運営

- 【概要】いわての若者情報や行政からのお知らせを集約し、若者団体の発信拠点・交流の場として岩手県が運営する公式サイト
- 【運用状況】
 - ①団体登録者数 R4.12月末日現在：101団体
 - ②「特集記事」の連載による若者の活動等の紹介（年12回）
 - ③SNSを使用した情報発信
 - Twitter、Facebook、Instagramによる情報発信の実施（随時）
 - ④若者団体、行政からのお知らせ（随時）

